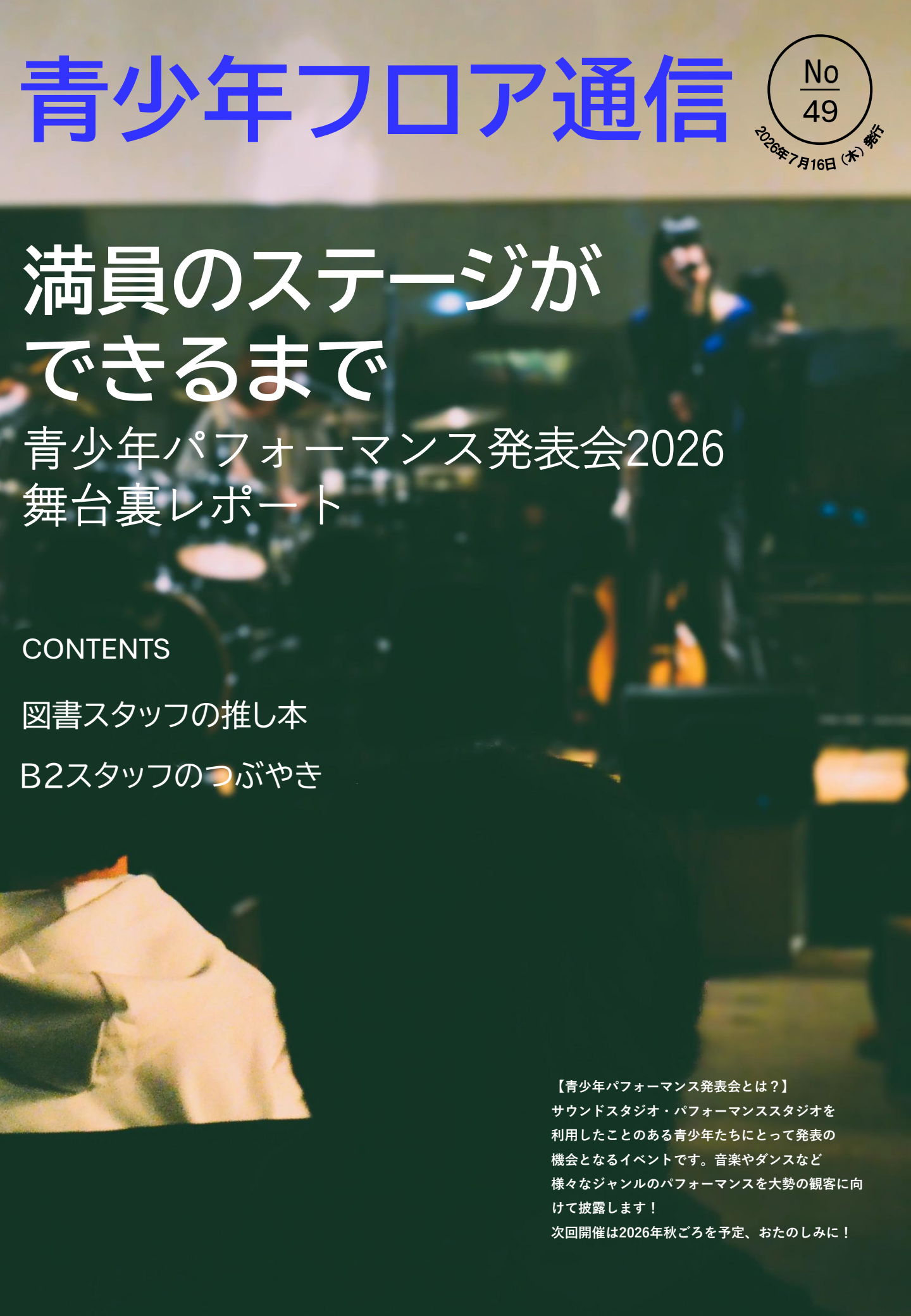
青少年フロア通信

No 49
2026年7月16日（木）発行



満員のステージができるまで

青少年パフォーマンス発表会2026 舞台裏レポート

CONTENTS

図書スタッフの推し本
B2スタッフのつぶやき

【青少年パフォーマンス発表会とは？】
サウンドスタジオ・パフォーマンススタジオを利用したことのある青少年たちにとって発表の機会となるイベントです。音楽やダンスなど様々なジャンルのパフォーマンスを大勢の観客に向けて披露します！
次回開催は2026年秋ごろを予定、おたのしみに！

満員のステージができるまで

青少年パフォーマンス発表会2026舞台裏レポート

実施日時　2026年1月11日(日) 13:00-17:00

初の武蔵野プレイス地下2階（B2）フロアでの開催となった青少年パフォーマンス発表会2026。観客数はのべ300人を超え、常に満員状態での盛り上がりを見せたが、舞台裏では一体どのような準備が行われていたのか。今回は運営側の視点から青少年パフォーマンス発表会の開催までの流れを追っていく。

募集開始

今年の会場が武蔵野プレイス地下２階に決まり、参加者の募集を行った。
パフォーマンスができる演目であればバンドやダンスはもちろん、漫才やコント、演劇など多彩なジャンルの出演者を募集した。今回はバンド9組、ダンス1組の計10組の出演となった。
当日は一日を通して地下２階がイベント会場に！

明るく爽やかなイメージをテーマにスタッフ森が制作

ミーティング

出演者は事前のミーティングに参加してもらう。当日の流れの確認や、出演順を決める話し合い、また、プロの音響スタッフと器材の配置や立ち位置、曲の尺などについて入念に打ち合わせをして本番へ向けて準備を進めていく。

開催に向けて

出演者の順番が決まり次第、速やかに開催ポスターやタイムテーブルの制作を進めていく。
より多くの人に発表を楽しんでもらうため、さまざまな工夫をおこなった▷

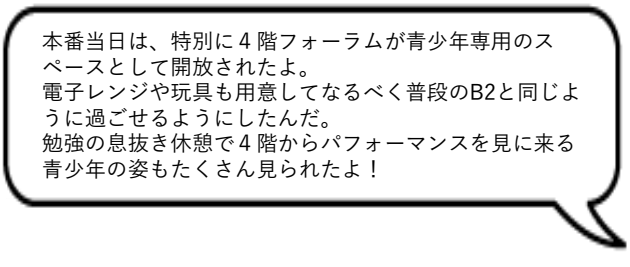
地下開催という事で、ライブ感のあるポスターに仕上げた

各バンドがイベント出演に際し紹介コメントを寄せている

① SNSでもイベントを盛り上げるため、Xでリポストキャンペーンを実施。来場者には「記念チケット」と「オリジナルまめいすシール」を配布した。

② 青少年フロアのスタッフがバンドを組んで前座として出演！会場を存分に盛り上げた。ちなみにバンド名は「爆音闘士団」(ばくおんファイターズ)

③ イベントの様子を撮影して1階のモニターで動画生配信とした結果、多くの興味をもった方たちがB2に足を運んでくれた。



7:00　舞台設営

朝７時。静かな地下２階に次々とスタッフが集まり会場作りが始まる。スピーカーやアンプが並び始めると、普段の青少年フロアはライブ会場へと姿を変えていった。

台や器材など重量があるので設営には人手が必要となる。

9:30　リハーサル

出演者は本番とは逆の順番でリハーサルをする。
一組あたりの持ち時間はわずか数分。出演者たちは緊張した表情で最終確認を行っていた。

13:30　「青少年パフォーマンス発表会」本番

開場すると観客席は続々と埋まっていく。司会によるイベントアナウンスやスタッフバンドによる前座が終わったころには、B2フロア全体のボルテージがかなり高まっているのをひしひしと感じた。

本番が始まり、それぞれ全力のパフォーマンスを披露していく。応援にきた友達や家族をはじめ、興味を持ってきてくれた方、ふらっと立ち寄った方など様々な観客が足を止めて彼らの勇姿に見入っていた。各組、演奏後は司会からのインタビューやラジオ取材、アンケート記入などが続く。

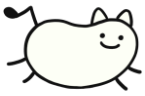
全てを終え「やりきったぞ！」と満足げな表情を浮かべる人、持てる力を出し尽くして疲れきっている人、友達と喜びを分かち合いながら笑っている人など、楽屋に戻っていく姿はどれも印象的だった。

△本番前に出演者とスタッフ全員で円陣

△沢山の応援メッセージを書いてもらえた

△出演後のインタビュー

△トリを飾ったダンスパフォーマンス



青少年担当の皆さん、感想を一言！

カメラ担当　えびちゃん

当日は、熱気あふれる会場を駆け回りながら、出演者の真剣で楽しそうにパフォーマンスをする姿や、青少年たちのパフォーマンスに感動、興奮している観覧者の姿をカメラに収めていました。出演者と観覧者が一体となって、青少年フロアがライブ会場に姿を変え、みんなが表現を楽しむ、温かいイベントとなりました。

司会担当　のぶりん

司会者として気を付けたことは出演者のパフォーマンスを邪魔しないよう最小限のアナウンスと動きを心がけました。１日中ステージ横でパフォーマンスを見ることが出来たのはとってもラッキーでした。みんな最高だったよ！

機材担当　へいへい

課題は集客だった。屋内では、街ゆく人が足を止めることが期待できない。さて、どうしたものか。そんな時にひらめいたのは、ライブの様子をプレイスの入口に中継する事だった。配信のやり方も手探りの中で臨んだ本番。中継を見て足を運んだという声もあり、挑戦した意味はあったのだと思う。青少年の一生懸命な姿を多くの人に見てもらう一端を担えたことを嬉しく思う。

ラジオ担当　ぶにちゃん

出番後は息つく間もなくむさしのFMのラジオ収録。私は収録の立ち会いであまり見られなくて残念でしたが、みんな楽しそうにインタビューに応えていて、パフォーマンスを終えた達成感とステージの熱気が伝わってきました。

プレイス図書スタッフの
推し本

『おうちで作れる実験スイーツレシピ お菓子＋化学＝おいしい＆楽しい！』

sachi_homemade（サチ　ホームメイド）著/
翔泳社（資料ID 214078851/請求番号 Y 596 サ）

今年の夏休みは何をするか決めましたか？
暑くて外へ出たくない。そんな日にはおうちでできる
“おいしい実験”はいかがでしょうか。
色を変化させて作るキラキラした宝石みたいな和菓子、砂糖の変化を観察しながら作るクラフトコーラ、温度を利用して作るアイスクリーム。どんな化学反応が起きているのか？ポイントはどこなのか？記録のまとめ方も載っているので自由研究にもおすすめです。
学んで面白く、食べておいしい実験レシピをぜひお試しあれ。

夏休み期間の青少年専用日のお知らせ　7月18日（土）～　8月25日（火）

～B2スタッフのつぶやき～

「爆音闘士団」（ばくおんファイターズ）とは、我々B2職員で結成したバンドの名前である。
ギター＆ボーカル、ベース、ドラムによる3ピースバンドで、「青少年パフォーマンス発表会2026」の前座として会場を盛り上げるために結成した急ごしらえのバンドだ。演奏歴はベテランから初心者までさまざま。
バンド名は雑談中の軽いノリで決まり、「はじけるくらいの爆音を出そうぜ！」という威勢の良いキーワードも生まれた。
ところが、いざ本番が始まってみると、音響担当の丁寧な仕事ぶりのおかげで音量は実に快適。名前とは裏腹に、
とても聴き心地の良い演奏となった。演奏を終えてふと思った。「名は体を表す、とは限らない。」

イベントが終わり、一息ついた春先のこと。近くの楽器店に用があり電話をかけた。
「担当におつなぎしますので、お名前をお願いします。」そう言われたので、「武蔵野プレイスのモリです。」と名乗った。
しかし、「すみません、もう一度お願いします。」と言われたため、再び「武蔵野プレイスのモリです。」と伝えると、
「ありがとうございます。ラストフレイムのモリさまですね！」との返答。おいおい、一体誰だそれは。
心の中でツッコミを入れつつも、楽器店なのだからバンド名で活動している人も多いのだろうと、妙に納得してしまった。

後日、この話をメンバーにすると大笑い。しかし同時に、どこか気に入った様子でもあった。
ラストフレイム――直訳すると「最後の炎」。
なんだか妙に格好いい。歳を重ねた野郎たちが、まだまだ燃え尽きずに音を鳴らしているようでもある。
もしかすると今度こそ、「名は体を表す」演奏ができるのかもしれない。
というわけで、我々のバンドは、このたび「ラストフレイム」へ改名することになった。…たぶん。　～B2スタッフM～

PLEASE FOLLOW US

チェック
チェック～！

プレイス公式X

プレイス公式
Facebook

プレイス公式
YouTubeチャンネル

プレイスWEB

バックナンバーは
WEBでご覧になれます。

発行：ひと・まち・情報 創造館　武蔵野プレイス　青少年活動支援担当
〒180-0023　武蔵野市境南町２-３-18　　開館時間　9時30分～22時00分
Tel　0422-30-1902（直通）　　水曜休館（祝日にあたる場合は開館し、翌日休館）

当通信に掲載されている画像等の無断転載はご遠慮ください。

公益財団法人 楽しむ、出会う、わかちあう 武蔵野文化生涯学習事業団
ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス